

令和4年度		比率の状況		実質公債費比率			
健全化判断比率の状況		実質赤字比率 (%)	-	実質公債費比率			
		連結実質赤字比率 (%)	-	区分	決算額 (単位:千円:%)	左の内訳	
		実質公債費比率 (%)	8.7	公債費充当一般財源等額(繰上償還額、公営企業債償還額及び満期一括地方債の元金に係るものを除く)	(1) 1,901,233	(3)の内訳 (上位3事業及びその他) 決算額 (単位:千円)	
		将来負担比率 (%)	6.1	満期一括地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)等	(2) 0	下水道事業 1,047,858	
実質赤字比率				公営企業債の財源に充てたと認められる繰出金	(3) 1,409,956	病院事業 359,337	
区分		決算額 (単位:千円:%)		一部事務組合等の起こした地方債の償還に充てたと認められる補助金又は負担金	(4) 113,080	水道事業 2,761	
歳入歳出差引額 (A)	523,085		分子	債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの	(5) 445,752	(5)の内訳	
繰越額等(未収入特定財源含む) (B)	1,278,939			一時借入金の利子	(6) 0		その他の事業 0
繰越額のうち未収入特定財源 (C)	1,075,132			災害復旧費等に係る基準財政需要額	(7) 1,683,260		PF事業にかかる委託料 41,792
標準財政規模 (D)	17,598,552			事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	(8) 545,924		
実質赤字比率 (A) - (B) + (C) / (D)				-1.81		小計 ((1)~(6)) - ((7)~(9)) (A)	1,444,961
連結実質赤字比率				資金不足比率		標準財政規模 (10)	17,598,552
区分		決算額 (単位:千円:%)		(単位:%)	実質公債費比率 (A) / (B) × 100	8.7 (9.5)	地方公共団体以外の者の債務を引き受けた場合における経費 274,729
実質収支	一般会計等	一般会計 (1)		319,278	将来負担額	小計 (10)-(11) (B)	15,173,492
		土地取得事業特別会計 (2)		0		将来負担比率 (A) / (B) × 100	6.1
資金不足額又は資金剰余額	法適用事業	水道事業会計 (11)		2,755,988		区分	決算額 (単位:千円:%)
		病院事業会計 (12)	319,739	(N-1)年度末一般会計等の地方債現在高		(1) 26,247,712	(3)の内訳
		下水道事業会計 (13)	422,993	債務負担行為に基づく支出予定額		(2) 502,303	決算額 (単位:千円)
	法非適用事業			一般会計等以外の会計の地方債の元金償還に対する一般会計等負担見込額		(3) 14,253,213	下水道事業 12,220,586
				組合等の地方債の元金償還に対する当該団体の負担見込額		(4) 1,155,542	病院事業 1,993,959
				退職手当支給予定額のうち一般会計等負担見込額		(5) 2,663,462	水道事業 38,668
実質収支	その他特別会計	国民健康保険事業特別会計 (31)	91,764	設立法人の債務等に対する一般会計等負担見込額		(6) 312,287	(6)の内訳
		後期高齢者医療特別会計 (32)	40,685	連結実質赤字額 (7)		0	
		介護保険事業特別会計 (33)	231,014	組合等の連結実質赤字額相当額のうち当該団体の一般会計等の負担見込額 (8)	0	土地開発公社 312,287	
				(N-1)年度末の充当可能基金現在高 (9)	9,467,936		
				特定の歳入見込額 (10)	7,443,265		
				地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額 (11)	27,288,712		
				小計 ((1)~(8)) - ((9)~(11)) (A)	934,606		
				標準財政規模 (12)	17,598,552		
				災害復旧費等に係る基準財政需要額 (13)	1,683,260		
				事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費 (14)	545,924		
連結実質赤字額 (1)~(40)の絶対値 (A)		-4,181,461		密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金及び準元利償還金(地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る) (15)	195,876		
標準財政規模 (B)		17,598,552		小計 ((12)-(13)~(15)) (B)	15,173,492		
連結実質赤字比率 (A) / (B) × 100		-23.76		将来負担比率 (A) / (B) × 100	6.1		

(注) 1. 連結実質赤字額は、赤字会計の合計値と黒字会計の合計値の絶対値であり、赤字の場合は整数値となる(黒字の場合は0となる)。